

浦河フレンド森のようちえん

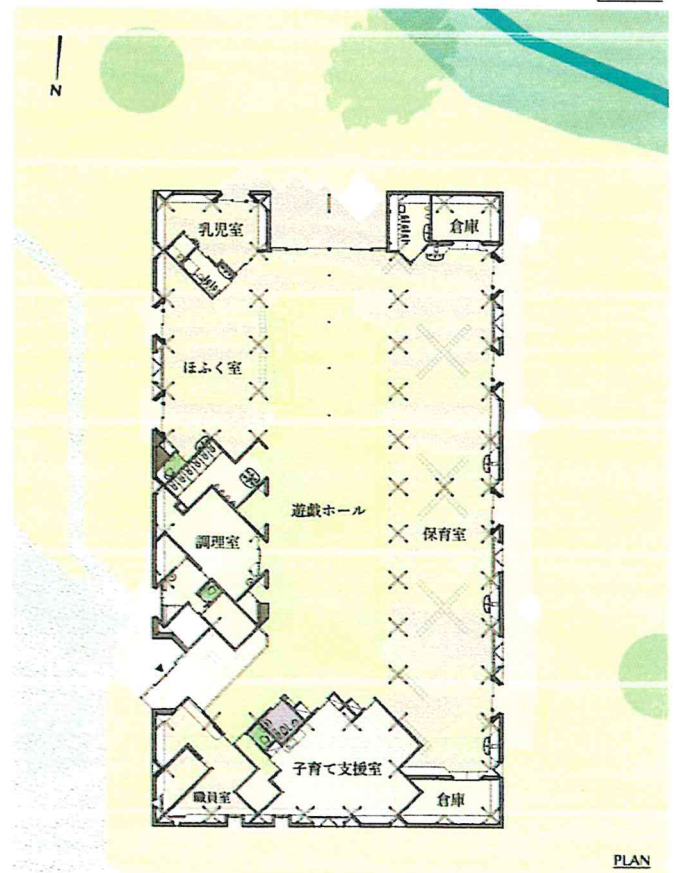
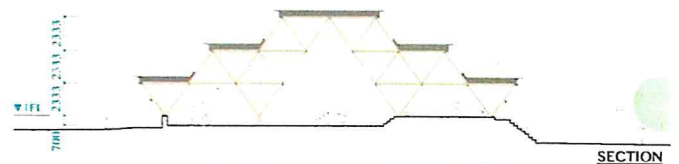
北海道浦河町の森を抱えた小高い山の麓に「森のようちえん」を実現するプロジェクトです。「森のようちえん」とは自然体験活動を軸とした子育て、保育、幼児教育の総称で、国内外で様々なスタイルの活動が行われています。

この新園舎は子どもたちの日々の成長のサポートを担い、広く内外に発信する教育拠点になるとともに、「森のようちえん」のコンセプトを体現し、多様性を包み込む建築となることを目指しています。子どもたちの世界が建築によって囲い込まれるのではなく、建築という身近な環境を手掛かりに、子どもたち自身が、世界を楽しく自由に発想していく姿を思い描いています。

保育室と遊戯ホールは、間仕切壁が無く、スケールや明るさの変化に富んだひとつながりの空間です。職員室や子育て支援室等のプライバシー動線のために設けた間仕切壁には上部にアクリル板を嵌めた欄間を連続して設け、どこに居ても一つの環境をシェアしている感覚が持てるようにしています。

構造材は柱120mm角、梁120mm×180mmという親しみやすい断面寸法とし、部材長を3.3mに統一して、正三角形と正方形からなる正四角錐を1ユニットとした立体トラスを形成しています。外周は1層に抑え、中央へセットバックしながら最大で3層となる架構を組んでいます。この架構は床から立ち上がり、機能上必要な空間を確保しつつ、斜め柱の柱脚部のような実用を前提としない空間も一緒に内包しています。中央には3層分の架構に応じた3スパン巾の無柱空間があり、これを遊戯ホールとしています。また、南東から北西へなだらかに傾斜しているおおらかな敷地の地形に合わせ、遊戯ホール、職員室、子育て支援室、調理室等は保育室よりも床レベルを下げ、のびのびとしたアクティビティや大人の作業に適したスケールに整えています。

恵まれた自然環境と共に過ごしながら、だれもが身の回りの環境とビュアに向き合い、自らの感性と理性を発見していく出発地点に、この新園舎がなっていくことを願っています。



YASUO TERUI Architects Inc.

MAIL teru-arch@dream.com TEL 011-211-4005

PLAN

建築概要

▼ 所在地	北海道浦河郡浦河町東町かしわ4丁目339番2
▼ 主要用途	幼保連携型認定こども園
▼ 建築主	(学)フレンド恵学園
▼ 設計監理	
統括	(株)照井康穂建築設計事務所
構造	(株)ジェーエスディー
設備	長沼環境システム
外構計画	(株)KITABA
ライティングデザイン	KAORI ENDO LIGHTING DESIGN
監理	(株)照井康穂建築設計事務所 (株)ジェーエスディー
▼ 施工	
統括	岩田地崎建設(株)
機械設備	(株)畑中設備工業
電気設備	(有)田中電気商会
木工事	物林(株)
軸組接合金物	北海道内田鍛工(株)
外部木製建具	協同組合札幌木工センター
外部樹脂製建具	YKK AP (株)
外装工事/内部建具/造作家具	(有)畑中工業
外装(羽目板)	(株)スズキトレーディング
シート防水工事	(株)イーアステック
板金工事	熊谷板金工業(株)
ガルバリウム鋼板	北海鋼機(株)
内装工事	(株)クワザワ工業
リノリウムシート	田島ルーフィング(株)
左官工事	野田左官店
塗装工事	本間塗装(株)
造作工事	日新インテック(株)
造作材(デスク)	ひだか南森林組合
外構工事	(株)久保田組
厨房設備	(株)アスモ / タニコー(株)
照明器具	大光電機 / ライティング創 / LUCI / コイズミ照明
土壤蓄熱式床暖房	サーマエンジニアリング(株)
サイン	(株)フレンズ
測量	昭和測量設計(株)
カーテン	(株)オフィスやました
▼ 規模・構造	
敷地面積	6,422.66 m ²
建築面積	1,331.27 m ²
延床面積	998.26 m ²
建蔽率	20.73 %
容積率	15.54 %
階数	平屋
最高高さ	8.595 m
最高軒高	8.166 m
構造	木造 (立体トラス)
UA値	0.26 W/m ² K
▼ 期間	
設計	2019年2月 - 2021年5月
施工	2021年6月 - 2022年2月
▼ 写真	GAZE photographica 古瀬 桂